

株主の皆様へ



代表取締役社長 力以 藤 隆 昭

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年10月に発生しました鳥取県中部地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

わが国経済は、企業部門を中心に緩やかな回復基調を維持して おりますが、中国をはじめとする新興国景気の減速などの影響も あり、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要事業においては、引き続きごみ処理プラントの更新、基幹改良工事や、バイオマス発電プラントの建設工事での需要が見込まれており、今後も積極的な営業活動を行ってまいります。

2016年度は、当社グループの第11次中期経営計画(3カ年)2年目の年です。当社グループは、「持続的成長の実現」を目指すものとして、本中期経営計画の目標達成に向けて一丸となってまい進しております。

今後ともタクマグループになお一層のご支援を賜りますよう、 よろしくお願い申し上げます。

持続的成長の

実

企業ビジョン

- ・再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり 続けること。
- ・目指すべき利益レベルとして「2020年度に経常利益100億円」を掲げ、事業環境が大きく変動するなかにおいても、安定的に100億円以上を獲得し得る体制を構築すること。

第11次中期経営計画(2015~2017年度)

基本方針とその視点

持続的成長の実現のための、6つの基本方針と3つの視点を定めました。

基本方針

- ①EPC事業での市場ポジション を維持・拡大
- ②ベース収益事業の拡大
- ③成長市場の取り込み
- ④財務体質の更なる強化
- ⑤人材マネジメント
- ⑥健全な企業風土の醸成

視点

- ①顧客価値の創造
- ②継続的イノベーション
- ③環境変化対応と リスクマネジメント

期間累計数値計画(連結)

受注高 4,000億円

売上高 **3,600**億円

経常利益 270億円

1

2016年度(第113期)上半期の業績および今後の取り組み

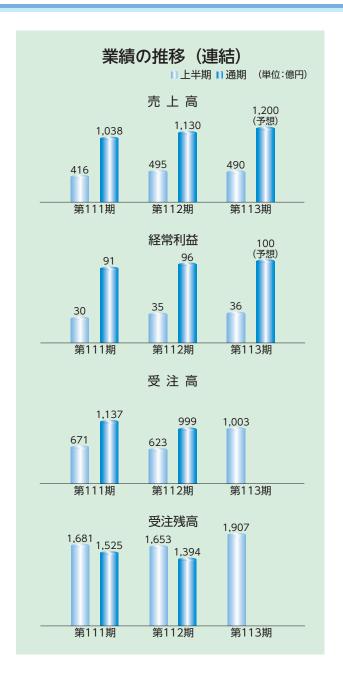
2016年度(第113期)上半期におけるタクマグループの業績は、ごみ処理プラントの建設工事や基幹改良工事、運転・維持管理を順調に受注したほか、バイオマス発電プラントの建設工事などを受注しており、受注高は1,003億4,100万円と前年同期に比べ379億7,800万円(60.9%)の大幅な増加となりました。これに伴い、受注残高は1,907億4,600万円となりました。

一方、売上高は、ごみ処理プラントやバイオマス発電プラントの建設工事が順調に進捗したことから490億1,900万円となりましたが、これらの工事が大きく進捗した前年同期に比べ5億7,600万円(1.2%)の減少となりました。

損益面においては、営業利益は33億4,300万円(前年同期比1.5%増)、経常利益は36億9,800万円(前年同期比2.8%増)となりました。

2016年度(第113期)通期では売上高1,200億円、経常利益100億円、親会社株主に帰属する当期純利益75億円と、期初予想通りとしております。今後も、徹底した品質管理、安全管理のもとでコスト管理、工程管理を行い、確実に収益を確保していきます。

配当につきましては、中間配当金を期初予想通り1株当たり6円と決定致しました。2016年度期末配当金についても6円を予定し、年間配当金は合計12円を予定しております。



トピックス 当社の事業活動

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」 開始後のバイオマス発電プラントにおける取り組み

木質チップやバガス (さとうきびの搾りかす) などのバイオマスを燃料とするボイラは当社の技術を結集した主力商品であり、1950年代から国内外に600缶以上納入しております。

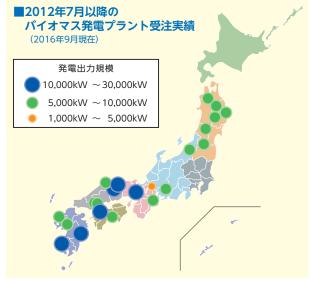
近年、地球温暖化やエネルギー価格の上昇に伴い、いままで利用されずに放置、廃棄されてきた林地残材や端材、畜ふんなどが、太陽光や風力などに並び、新たなエネルギー源として注目されるようになりました。

国内では、2012年7月に「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT/Feed-in Tariff)」が施行され、安定的な収益が見込めるようになったことから、大手製材会社、製紙会社、その他多業種の会社がバイオマス燃料を用いた発電事業へ参入しております。当社は制度開始以降多くのお客様からバイオマス発電プラントを受注し、現在は業界トップの14件のプラントが完成、稼働しております*。

バイオマス燃料は原料の含有水分が多く、燃えにくい性質があります。当社は、より効率よく安定的に燃焼させ、多くのエネルギーを回収するために、豊富な実績とノウハウを活かして計画、設計、建設およびアフターサービスを行っております。

今後も、バイオマス発電プラントのリーディング カンパニーとして、お客様に最適なプラントをご提 案してまいります。

※2016年9月現在稼働中のプラント数。右図は受注したプラント数。





バイオマス発電プラント

グループ会社製品紹介

触媒脱硝装置のオンサイト再生システム エネルギー・資源学会「第5回学会賞」を受賞

当社の触媒脱硝装置のオンサイト再生システムが、 一般社団法人エネルギー・資源学会「第5回学会賞*」 を受賞しました。

本システムは、触媒脱硝装置を使用する都市ごみ 焼却施設、産業廃棄物焼却施設、ボイラ・発電施設 へ導入可能なシステムであり、触媒脱硝装置の触媒 を装置から取り外すことなく再生するため、従来の 特定施設に持ち込んで触媒を再生する方法と比べて 処理工程での触媒の破損リスクを低減し、再生時間 および再生コストを大幅に縮減することが可能です。

当社は今後とも、廃棄物処理のトップランナーと して、環境負荷低減に貢献する技術・システムを開 発してまいります。

※一般社団法人エネルギー・資源学会 学会賞

一般社団法人エネルギー・資源学会の表彰制度で、エネルギー・資源・環境に関する学術の発展に貢献する技術やシステムの開発・解析・調査などで特に顕著な業績をあげた個人や団体を表彰するものです。





授賞式で賞状と盾を授与されました。

高効率貫流ボイラ 「スーパーエクオスEQi(H)-6001NM(ガス焚)」

当社グループの株式会社日本サーモエナーは、定格負荷効率99%(部分負荷効率101%)*を達成し、高ターンダウン比8:1の比例制御により負荷追従性を向上した高効率貫流ボイラ「スーパーエクオスEQi(H)-6001NM(ガス焚)」を2016年1月から販売開始致しました。

本製品は換算蒸発量6,000kg/hで、発売以来、主に工場や大型建築物などの熱源として、幅広いお客様にご採用頂いております。

※0.98MPa仕様 (蒸気圧力0.49MPa、給気温度35℃、給水温度15℃)

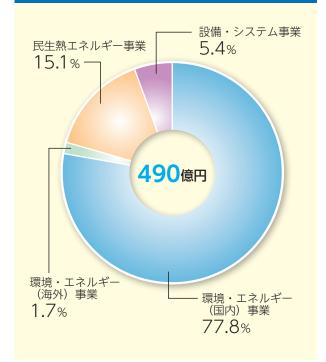
特長

- ①業界No.1の超高効率運転 定格負荷効率99% (部分負荷効率101%) を実現しました。
- ②良質な蒸気をご提供 幅広い圧力範囲において、蒸気乾き度99.5%以上を 実現しました。
- ③ PI制御 (比例積分制御) による高い負荷追従性能
- ④高ターンダウン比(8:1)と優れた燃焼性能
- ⑤給水量変動応答ブロー制御採用(特許 第5826539号)
- | ⑥連続パイロット制御(オプション)



スーパーエクオスEQi(H)-6001NM 製品外観

売上高構成比率(2016年度上半期)





一般廃棄物処理プラント

環境・エネルギー(国内)事業

自治体向けの一般廃棄物処理プラント、資源回収プラント、下水処理プラント、汚泥焼却プラント、民間向けの産業廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント、ガスタービンコージェネレーションシステムの設計、施工およびメンテナンスのほか廃棄物処理を行っております。

売 上	高	38	3,232 (前年同期比	百万円 2.8%減)
営業利	」益	4	142 (前年同期比	百万円 7.0%増)
売上高 ■ (単位: 400	311 29.5	393	営業利i → (単) 382 41.4	益 位:億円) 80 40
0	第111期 (上半期)	第112期 (上半期)	第113期 (上半期)	0



バイオマス発電プラント

環境・エネルギー(海外)事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス (サトウキビの搾りかす) を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

242

元上	尚		(前年同期比9	99.0%增)
営業和	刊益		△139 (前年同期実績△3	百万円 37百万円)
売上高 (単位	:億円)		営業利 → ●(単	益 位:億円)
10	7		8	5
5	0.8	4 △0.3	1 2	0
0 ——	第111期 (上半期)	第112期 (上半期)	△1.3 第113期 (上半期)	△5

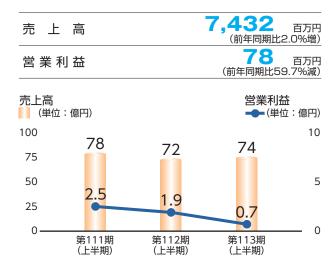
設備・システム事業

大学、研究所、病院向けの建築設備、空調設備や 半導体産業向けのクリーンルーム、ケミカルエアフィ ルタ、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っておりま す。

売 上	高		2,655 (前年同期比	百万円 1.3%減)
営業和	J 益		133 (前年同期比8	百万円
売上高 (単位	: 億円)		営業利i	益 位:億円)
30	00	26	26	5
20	20			•
10	△0.8	0.7	1.3	0
0 —				— △5
-	第111期 (上半期)	第112期 (上半期)	第113期 (上半期)	

民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の製造、販売、メンテナンスを行っております。





EQRH-1001NM

比例制御ガスバーナー搭載 真空式温水機 (GTLHシリーズ)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 H28.9.30現在	前 期 H28.3.31現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,575	48,916
受取手形及び売掛金	29,240	45,177
たな卸資産	6,052	4,041
その他	4,686	4,913
貸倒引当金	△32	△39
流動資産合計	96,521	103,009
固定資産		
有形固定資産	9,241	9,596
無形固定資産	299	313
投資その他の資産		
投資有価証券	14,883	15,733
その他	4,470	4,429
貸倒引当金	△462	△467
投資その他の資産合計	18,890	19,695
固定資産合計	28,431	29,605
資産合計	124,953	132,614

	当第2四半期	(羊位: 6/11 1/
	ヨポ ノ四干期 H28.9.30現在	前 期 H28.3.31現在
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,155	23,532
電子記録債務	10,643	11,587
短期借入金	8,316	8,422
未払法人税等	1,029	1,255
前受金	7,861	7,700
賞与引当金	2,095	2,453
製品保証引当金	154	141
工事損失引当金	4,257	5,164
その他	2,727	2,885
流動負債合計	53,242	63,144
固定負債		
長期借入金	1,162	1,396
役員退職慰労引当金	127	188
退職給付に係る負債	8,881	8,667
その他	428	407
固定負債合計	10,601	10,660
負債合計	63,843	73,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,768	3,768
利益剰余金	41,012	38,754
自己株式	△233	△232
株主資本合計	57,914	55,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,645	3,586
繰延ヘッジ損益	△52	△26
為替換算調整勘定	△45	△11
退職給付に係る調整累計額	△620	△659
その他の包括利益累計額合計	2,927	2,888
非支配株主持分	267	263
純資産合計	61,109	58,809
負債純資産合計	124,953	132,614

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 H28.4.1~H28.9.30	前第2四半期 H27.4.1~H27.9.30
売上高	49,019	49,596
売上原価	38,615	39,543
売上総利益	10,404	10,053
販売費及び一般管理費	7,060	6,760
営業利益	3,343	3,293
営業外収益		
受取利息	19	31
受取配当金	215	228
持分法による投資利益	137	196
その他	73	80
営業外収益合計	445	536
営業外費用		
支払利息	39	57
為替差損	29	_
その他	22	173
営業外費用合計	91	230
経常利益	3,698	3,599
税金等調整前四半期純利益	3,698	3,599
法人税等	907	591
四半期純利益	2,791	3,007
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,808	3,013

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)

	, i = (\times_i)	(+12.07)
	当第2四半期 H28.4.1~H28.9.30	前第2四半期 H27.4.1~H27.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,005	14,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	732	92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△851	△1,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,839	13,116
現金及び現金同等物の期首残高	48,335	45,007
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	836	_
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,010	58,124

解 説

■連結貸借対照表

・資産の部

受取手形及び売掛金が回収により減少しており、現金及び預金が増加したものの、資産合計は減少しております。

- ・負債の部
 - 支払手形及び買掛金が決済により減少したほか、工事損失引当金が減少しており、負債合計は減少しております。
- ・純資産の部

親会社株主に帰属する四半期純利益により、 純資産合計は増加しております。

■連結損益計算書

原価低減などにより、営業利益、経常利益は 前年同期を上回っておりますが、税金費用の 増加により、親会社株主に帰属する四半期純 利益は、前年同期を下回っております。

会社概要

(平成28年9月30日現在)

設 **立** 昭和13年6月10日

箵 金 13.367百万円 本 本社の所在地 〒660-0806

兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号

TEL 06-6483-2609

事 業 所

大阪事務所 〒532-0026 大阪市淀川区塚本2丁目3番20号 (ダイケンビル)

TEL 06-6100-3301

東京支社 〒 103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1番7号 (野村不動産東日本橋ビル) TEL 03-5822-7800

北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 (大五ビル) TEL 011-221-4106

東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番2号 (NMF仙台青葉通りビル) TEL 022-222-3042

中部支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)

TEL 052-571-5211

九州支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目1番1号(薬院ビジネスガーデン)

TEL 092-717-2828

沖縄営業所 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1丁目11番12号 (コモンズビル)

TEL 098-898-6650

〒676-8540 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号 播磨工場

TEL 079-443-6511

台北支店 台湾台北市114-92内湖區基湖路35巷16号7樓A1

TEL 886-2-8752-3838

主要関係会社

(平成28年9月30日現在)

国内

株式会社日本サーモエナー

各種ボイラ及び関連機器の販売

株式会社タクマテクノス

環境施設等の維持管理運営及びボイラ、環境設備等の設計・施工及び監理

株式会社北海道サニタリー・メンテナンス

下水処理施設等の維持管理運営

株式会社タクマテクノス北海道

ごみ処理施設等の維持管理運営

株式会社サンプラント

空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工及び監理

タクマ・エンジニアリング株式会社

環境設備プラント、エネルギープラント等の設計

タクマシステムコントロール株式会社

環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計

株式会社ダン・タクマ

クリーン機器、ケミカルエアフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置等の製造、販売

協立設備株式会社

環境設備プラント・機械設備、産業用ボイラ設備等の設計・施工及び監理

株式会社環境ソルテック

水質、排気ガス、土壌汚染等、環境問題関連の分析、計量事業

カンポリサイクルプラザ株式会社

一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務

長泉ハイトラスト株式会社

一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営及び維持管理

藤沢ハイトラスト株式会社

一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

いわて県北クリーン株式会社

産業廃棄物及び一般廃棄物の処理業務

ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社

一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

阿南ハイトラスト株式会社

一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

くるめハイトラスト株式会社

一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

ほくたんハイトラスト株式会社

一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

諏訪湖ハイトラスト株式会社

一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

株式会社タクマエナジー

雷力小売事業

海 外

臺田環丁股份有限公司(台湾)

ごみ処理施設及び各種産業機器設備の設計、据付及び監理

SIAM TAKUMA Co.. Ltd. (タイ)

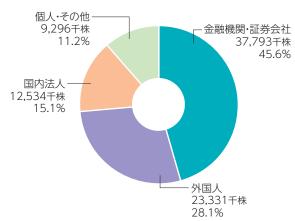
エネルギー及び環境関連プラントの販売及びアフターサービス

株式の状況

(平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数321,840,000株発行済の株式総数83,000,000株株主総数4,111名

■所有者別分布状況



■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,230	9.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,515	7.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,022	4.8
日本生命保険相互会社	3,593	4.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,003	2.4
タクマ共栄会	1,695	2.0
株式会社三井住友銀行	1,621	2.0
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,567	1.9
日本土地建物株式会社	1,305	1.6
STATE STREET BANK AND TRUST OMNIBUS ACCOUNT OM25	1,292	1.6

(注) 持株比率は自己名義株式45千株を控除して計算しております。

【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

単元未満株式の買増し

株主様がお持ちの単元未満株式と併せて1単元(100株)となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却(株主様にとっては買増し)いたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 7

75株を買増しし て、100株にするこ とができます。

単元未満株式の買取り

株主様がお持ちの単元未満株式を、当社が市場価格 にて買取りいたします。

例) 25株ご所有の株主様 →

→ 25株を当社に売却 することができま す。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別 □座管理機関(三菱UFJ信託銀行)へお申し出くだ さい。なお、証券会社等に□座をお持ちの株主様は、 お取引□座のある証券会社等へお申し出ください。

情報満載!ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

http://www.takuma.co.jp/

株主メモ		
事 業 年 度	4月1日~翌年3月31日	
定 時 株 主 総 会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日	
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社	
同 連 絡 先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)		
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)		
公 告 方 法	電子公告(当社のホームページに掲載) (http://www.takuma.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をする ことができない場合は、日本経済新聞に掲載	
上場証券取引所	東京 (証券コード:6013)	
単 元 株 式 数	100株	

(ご注意)

- 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、□座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。□座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合せください。
- 3. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。





